

公益社団法人愛知県医師会 第36回(定例)理事会議事録

開催日時：平成26年2月27日(木) 午後3時35分～午後4時30分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤 宣 夫 横井 隆

理事／稲坂 博 可世木成明 市川朝洋 吉田 貴 伊藤 健一

城 義政 加藤 雅通 大輪 芳裕 樫尾 富二 樋口 俊寛

伊藤富士子 瀨 瀨 雅 明

監事／加藤 茂 丹羽 翼 岩瀬 敬紀

代議員会議長／杉田 洋一

代議員会副議長／藤原 誠治

欠席者 西山 朗 松尾 清一 細川 秀一

議事録作成者 横地 宏和

※協議事項10は報告事項の後に審議した。

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者21名(うち理事16名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶。

議 事

一承認事項一

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

①東海腹膜透析研究会(会長 松尾清一)の行う第7回市民公開講座「腎臓病と共に生きる」〔4/20(日)〕の後援について

市川理事より説明があり、承認された。

②特定非営利活動法人外国人医療センター(理事長 岡本土麟)主催の外国人無料健康相談会の後援について

市川理事より説明があり、承認された。

- (2) 特定非営利活動法人国際医療連携機構(理事長 神野哲夫)主催の第2回国際フォーラム〔6/22(日)〕の協賛について
市川理事より説明があり、承認された。
- (3) 愛知県言語聴覚士会(会長 鈴木美代子)の行う第9回愛知県言語聴覚士会総会・学術集会〔6/1(日)〕の後援について
市川理事より説明があり、承認された。
2. 臨時監事会〔3/6(木)〕開催について
(5階医師連盟会議室)
可世木理事より説明があり、標記監事会の開催が承認された。
3. 健康教育講座〔4月～7月〕開催について
吉田理事より説明があり、標記講座の開催が承認された。
4. 愛知医報購読料および広告料金の改定について
吉田理事より説明があり、消費税増税に伴い購読料及び広告料金を改定することが承認された。
5. 愛知県栄養士会との懇談会〔3/28(金)〕開催について
(愛知県医師会主催：愛知県医師会館)
城理事より説明があり、標記懇談会の開催日の変更が承認された。
6. 愛知県委託事業生活習慣病対策機能連携推進事業ポスター及びリーフレットへの名義借用について
城理事より説明があり、名義使用が承認された。
7. 愛知県医師会会員相談窓口第5回事例検討会〔3/17(月)〕開催について
(愛知県医師会主催：801会議室)
大輪理事より説明があり、標記検討会の開催が承認された。
8. 第32回愛知県医師会医療秘書学院卒業式〔3/16(日)〕開催について
(愛知県医師会医療秘書学院主催：9階大講堂)
大輪理事より説明があり、標記卒業式の開催が承認された。
- 協議事項—
9. 会費の減免申請について
可世木理事より説明があり、名古屋市医師会からの会費減免申請が承認された。

10. 提携SMO(治験施設支援機関)の施設支援の継続可否について

大輪理事より、本会会員施設にて治験業務支援を行っているSMO(治験施設支援機関)である「サイトサポート・インスティテュート(SSI)」が、大阪市内の施設にてデータ捏造に関与していた件について、資料に基づきこれまでの経緯、調査結果の説明をされ、今後の対応について審議を求められた。

市川理事より、県医師会治験審査会にて継続可とした根拠を質問され、大輪理事より、本件については親会社のシミックホールディングス(株)(cmic)が専門家調査委員会の調査結果報告及びその対応(処分等)を行っていること、SMOと県医師会には契約関係が無く各会員との契約になるため、会員が契約しなければ成り立たないこと、本事案は法的な問題では無く倫理的な問題であること等を勘案し、SMOとして認めることは問題ないという結論であったと回答された。

市川理事より、提携SMOと会員が見れば、医師会のお墨付きがあると思われると発言され、伊藤(健)理事より、ペナルティをするのであればしっかりと期日を定めるべきであると発言された。

柵木会長より、継続案件は今まで通りとするが、3ヶ月間新規案件は認めず、問題が無ければその後に新規案件を再開することにすると発言され、了承された。

11. その他

—報告事項—

1. 東海北陸地方社会保険医療協議会愛知部会〔2/24(月)〕について
(東海北陸厚生局主催：東海北陸厚生局)
柵木会長より、医科7件が新規に提出されたと報告され、医科、歯科、薬局の指定医数の推移についての説明をされた。
2. 平成25年度あいち医療通訳システム推進協議会第2回代表者会議〔2/24(月)〕について
(愛知県主催：あいち国際プラザ)
伊藤副会長より、利用状況について、大口の利用者が増えているため増加しているが、その年の大口の利用者により利用状況は変化すると報告された。
3. マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知実行委員会 2014 第3回医療部会〔2/19(水)〕について
(マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知実行委員会主催・中日新聞社)
稲坂理事より、マラソンフェスティバル2014医療・救護活動マニュアル(案)が事務局より提示され、内容について周知、確認を行った。救命事案と救急事案の活動体系について、明確に指揮命令システムを記載するように指摘があり、修正することになった。続いて、当日の資器材について確認がなされ、最後に今後のスケジュールを確認したと報告された。
柵木会長より、ボランティアの人数について質問され、稲坂理事より、詳細な数は把握していないが、県医師会からは救急医療情報センターの職員を派遣すると回答された。
4. 第2回健やかな妊娠等サポート事業検討会議〔2/14(金)〕について
(名古屋市立大学主催：名古屋市立大学)
可世木理事より、本会議は愛知県母子保健運営協議会の専門委員会で、少子化、高齢出産、シングルマザーなどの問題の背景として、妊娠と出産に関する意識調査(名市大鈴木教授、杉浦教授)の集計(一部)が報告された。1万例のうち回収は1,766例と低いと報告された。
5. 平成25年度母子保健講習会〔2/16(日)〕について
(日本医師会主催：日本医師会館)
可世木理事より、今年度の母子保健講習会は「成育基本法」をテーマに開催された。日医周産期・乳幼児保健検討委員会にて、「健やかな子どもの発育、子どもの成育過程の整備のための基本法(理念法)」を制定するための原案が作成されたので、その内容の講習会、シンポジウムであったと報告され、また、成育基本法の内容について説明された。
柵木会長より、成育基本法の成立時期について質問され、可世木理事より、もう少し時間がかかると回答された。

6. 健康教育講座〔2/12(水)〕について

(愛知県医師会主催：9階大講堂)

吉田理事より、「介護保険と認知症」として、名古屋市介護認定審査会会長黒川豊先生にご講演いただき、247名の参加があったと報告された。

7. 平成25年度学校保健講習会〔2/23(日)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

吉田理事より、「最近の学校健康教育行政の課題について」、「学校保健における食物アレルギー対策」、「スポーツと月経異常-その現状と対策-」及びシンポジウムについてその内容の報告をされた。

8. 第11回愛医総研意見交換会〔2/12(水)〕について

(愛知県医師会主催：501会議室)

伊藤(健)理事より、今回は講師にNTT西日本東海病院名誉院長塚田勝比古先生をお招きし、「アルコール関連問題における医療連携」をテーマに意見交換を行った。出席者は愛医総研関係者6名、医師会関係者1名、傍聴者2名であったと報告された。

9. 第16回ジェネラルマインド医師養成セミナー〔2/15(土)〕について

(愛知県医師会主催：6階研修室)

伊藤(健)理事より、「これだけでOK糖尿病エンパワーメントから考える薬選びのコツ」と題して、名古屋大学大学院医学系研究科地域総合ヘルスケアシステム開発寄附講座講師の岡崎研太郎先生に講演頂いた。40名の定員に対し31名の参加申込みがあり、当日参加者を含め参加者総数は31名であったと報告された。

10. 医療従事者の認知症対応力向上研修(第2回)〔2/16(日)〕について

(愛知県医師会・愛知県主催：9階大講堂・8階会議室)

伊藤(健)理事より、医師、看護師を中心に107名の参加があった。また、講演を90分行わないと、厚生労働省の修了証が発行されないが、プログラムのスケジュールが詰まっているので来年度以降は内容の検討を行うと報告された。

柵木会長より、医師の参加割合について質問され、伊藤(健)理事より、医師の参加者は8名であったと回答された。

11. 愛知県健康管理機関協議会理事会〔2/4(火)〕について

(愛知県健康管理機関協議会主催：日本陶磁器センタービル)

城理事より、平成25年度研修会は3月11日(火)に県医師会館地下講堂にて開催となり、その後、愛知県健康対策課より、特定健診・特定保健指導の現状と課題について講演があった。健診結果等の情報提供、受診勧奨に関する具体的記述の活用、科学的知見や具体的な活用方法に基づいた健診・保健指導が提案されたと報告された。

柵木会長より、愛知県健康管理機関協議会について質問され、城理事より、集団検診を行っている事業者の任意団体であり、本会は本協議会にオブザーバーとして参画していると回答された。

1 2. 一般社団法人愛知県労災指定医協会平成 25 年度第 10 回理事会〔2/6(木)〕について

(一般社団法人愛知県労災指定医協会主催：802～804 会議室)

城理事より、平成 26 年度の事業計画については、労働災害の対応が追加となり、集団的労働災害、地震等大規模災害に対し、愛知県医師会と連携のうえ、救護等協力と援護を行うこととなり、また、平成 26 年度予算の承認を行ったと報告された。

1 3. 日医生涯教育協力講座セミナー「糖尿病患者さんの食習慣を考慮に入れた薬物治療」〔2/8(土)〕について

(日本医師会・愛知県医師会・田辺三菱製薬株式会社共催：中電ホール)

城理事より、「糖尿病患者さんの食習慣を考慮に入れた薬物治療」をテーマにセミナーを行い、参加者数は 142 名であったと報告された。

1 4. 特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち第10回運営委員会〔2/12(水)〕について

(特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち主催：

特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち事務室)

城理事より、平成 26 年度特定健診集合 B 契約の単価は 7,520 円、特定保健指導は、積極的支援 25,000 円、動機付け支援 8,000 円で交渉。平成 20 年より蓄積しているデータを集計、解析するなどのために、学術研究部を立ち上げてはと提案があったと報告された。

1 5. 第 4 回糖尿病対策推進協議会〔2/7(金)〕について

(愛知県医師会主催：6 階研修室)

城理事より、前回の協議会で提出された「糖質制限」、「運動療法」のホームページ掲載原稿の内容・レイアウト等について再度検討を行い、内容を決定した。また、学校の教員向けに生活習慣病を患っている子供の管理方法等について講習会を開催できないか意見が提出されたと報告された。

1 6. 名古屋医療センター 地域医療支援病院運営委員会〔2/12(水)〕について

(名古屋医療センター主催：名古屋医療センター)

大輪理事より、地域医療支援病院認定基準の見直しについて、改正される基準では、愛知県内の施設は 1 病院になってしまうと説明された。また、委員会では、平成 25 年度(10 月～12 月)は紹介率 73%から 85.4%と著明に増加。逆紹介率は 61.4%から 72.7%と著明に増加。平均在院日数、病床利用率は横ばい。1 日平均

外来患者数は増加。救急車は平成 25 年度(10 月～12 月)は 1,676 件で横ばい。協議事項、紹介率を増加させる施策、誤嚥性肺炎患者の受け入れ困難などの報告があったと報告された。

17. 平成 25 年度 第 4 回名古屋掖済会病院地域医療支援病院運営委員会〔2/13(木)〕について

(名古屋掖済会病院主催：名古屋掖済会病院)

大輪理事より、平成 25 年度(10 月～12 月)は紹介率 53.1%、逆紹介率 74.6%で横ばい。平均在院日数は 12.3 日、病床利用率 80.9%。1 日平均外来患者数は増加。救急車は平成 25 年度(10 月～12 月)は 1,749 件。協議事項、名古屋医療圏の救急の受け入れ状況について報告があったと報告された。

伊藤(健)理事より、紹介率の算定方法について発言された。

山本副会長より、健診結果に伴う有所見者への紹介状は紹介率に入るのか質問され、柵木会長より、紹介状の定義は県の基準と、保険診療上の基準は異なると発言され、地域医療支援病院の認定については医療対策部会に上程されるので部会で認定基準についてしっかり議論するよう山本副会長へ依頼された。

18. 産業医研修会〔2/18(火)・2/20(木)〕について

(愛知県医師会主催：9 階大講堂・(株)デンソー高棚製作所)

伊藤(富)理事より、2 月 18 日(火)は愛知県医師会館にて開催し、73 名の出席があり、2 月 20 日(木)は(株)デンソー高棚製作所にて開催し、28 名の出席があったと報告された。

19. 精度管理研修会〔2/21(金)〕について

(愛知県医師会主催：9 階大講堂)

樫尾理事より、講演内容の説明をされ、出席者は 79 名であったと報告された。

20. 平成 25 年度第 2 回『2020.30』推進懇話会〔2/14(金)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

伊藤(富)理事より、男女共同参画委員会の小栗副委員長、小出委員、水野委員、前委員の高須先生が出席。日本医師会の松原副会長、高杉常任理事、小森常任理事より、式次第に沿って講演が行われた後、活発な質疑応答が行われたと報告された。

21. 愛知県後発医薬品適正使用協議会〔2/18(火)〕について

(愛知県主催：自治センター)

瀧瀬理事より、愛知県の使用割合は平成 25 年度 10 月分で 30.5%と増加傾向ではあるが、平成 30 年度 3 月末までの国の目標値は 60%であり、まだ遠く及ばない。品質信頼性の確保・安定供給・国民や医療関係者への知識普及など努める必要があり、具体的な対応について検討されたと報告された。

2.2. 愛知県医薬分業適正化協議会議〔2/18(火)〕について

(愛知県主催：自治センター)

瀬瀬理事より、目標値は60%以上であり、平成25年3月時点においては愛知県全体として60.8%とほぼ達成された。ただ名古屋・西三河南部・東三河南部・東三河北部では60%以下と圏域において差がみられる。また調剤事故・過誤報告書(25年度末までの64例)についての報告があったと報告された。

2.3. 各種委員会・部会について

A) 広報委員会〔2/15(土)〕について

(501会議室)

吉田理事より、校正班分担の確認、トップ原稿、表紙作品、広報賞、愛知医報購読料及び広告料金について協議した。広告については2件を審査し、すべてを掲載了承した。また、広報賞については2件を審査したが、今回は見送りとしたと報告された。

B) 難治性疾患委員会〔2/17(月)〕について

(803・804会議室)

大輪理事より、愛知県から難病対策の見直しについて資料に基づき報告。今後の難病対策法制化のスケジュール、難病指定医の認定、新・難病医療拠点病院などについて議論が行われた。愛知労働局より障害者手帳を持たない難病患者の就職件数が平成25年12月末時点で、2年前と比べ倍増していることなどの報告があったと報告された。

C) 救急委員会小委員会〔2/18(火)〕について

(601会議室)

稲坂理事より、3月8日(土)開催の第32回救急医療・災害医療シンポジウムにおける事前打ち合わせ会を実施したと報告された。

D) 社会福祉専門委員会〔2/18(火)〕について

(6階研修室)

樋口理事より、「認知症サポート医フォローアップ研修について」、「認知症対応病院モデル事業の医療機関について」検討を行った他、愛知県が行った在宅医療、介護予防、認知症施策等の会議について話し合ったと報告された。

E) 社保指導委員会〔2/22(土)〕について

(中日パレス)

樫尾理事より、厚生局の行う指導・監査状況報告、審査支払機関の現状等について報告・意見交換。委員会終了後、保険診療懇談会を行ったと報告された。

F) 調査室委員会〔2/26(水)〕について

(5階医師連盟会議室)

加藤理事より、第170回(臨時)代議員会決議文について意見交換を行ったと報告され、決議文については、次回の本委員会にて案を決定するため、本理事会への提出は代議員会2日前の3月13日(木)となり、修正意見をまとめるのは時間的に余裕がないので委員会での案が確定し次第、役員へメールにて決議文を送付するので理事会までに意見を頂くよう依頼された。

24. その他

・愛知県医師会交響楽団 第32回定期演奏会〔2/11(火・祝)〕について

可世木理事より、会長の挨拶に続いておぎゃー献金基金にチャリティーの贈呈が行われた。黒岩英臣氏の指揮で、バッハ、サンサーンス、ベートーベンの3番「英雄」などが演奏された。大変出来が良く、1,304人の入場者を堪能させることができたと報告された。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成26年2月27日